

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

平成 24 年度事業報告書



平成 25 年 5 月

はじめに

平成 24 年度を振り返りますと、まずは、2011 年 3 月 11 日に発災した東日本大震災の復興へ向けてのあゆみは、2 年目を迎えて踊り場状態がつづき、被災者の生活再建は立ち往生していて、また、被災者支援のニーズは多様化している一方で、被災地外での関心が薄れつつある、という状況でありました。

しみん基金・こうべでは、この状況に対して長期的な視野に立った支援のしくみとして「東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金（愛称：ずっと・こころ・つなぐ基金）」を創設し、震災関連のドキュメンタリー映画の上映と被災者支援のボランティア活動をしている人たちとの対話のつどいを複数回開催し、被災地のことをいつまでも忘れない、というメッセージを発信しながら、基金への寄附を呼びかけてきました。合わせて、平成 23 年度と同様に、被災者を支援するボランティア活動へ助成する特定枠を設置し、従来からの一般枠と合わせて、また引き続き「次代の市民活動の担い手育成を重視する」というテーマを掲げながら、助成事業を実施しました。そして、平成 24 年 10 月に開催した公開審査会の結果、8 団体（一般枠；4 団体、特定枠；4 団体）の各事業に合計 2 9 9 万円（一般枠；1 5 0 万円、特定枠；1 4 9 万円）の助成金を交付し、助成を受けられた団体の活動を通じて、18 年前の KOBE での経験が、このたびの震災被災者支援に活かされるようにしてきました。

また、兵庫県の「地域づくり活動支援事業」の委託を受けて、「寄附文化醸成セミナー」を 2 回にわたって開催し、平成 24 年度から施行された寄附税制改正の意義と改正点のポイント、それを受けての NPO が寄附集めをはじめの前に準備しておくべきことについて、啓発活動を展開しました。

さらに、12 年目となる委託事業「はぁ～とふるファンド」支援事業や、他団体との協働ファンドレイジング事業「こうべ i ウォーク 2013」、3 年目となる「NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座」などを引き続き実施しました。

阪神淡路大震災から 18 年が経過し、当基金も助成先団体の活動を通じて、「絆」をつくり繋いでいく役割を担ってきました。そして今、東日本大震災以降の時代は、より一層の「絆」の再生と創造が求められています。今後も、これまでの経験に基づきながら、社会的な課題解決に大きな役割を果たしている市民活動を地域の中で育てていくために、当基金自身の社会的価値をさらに高めてまいり所存でございます。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
理事長 黒田 裕子

目次

1 寄付・募金活動

ア) 寄付金・募金受入	4
イ) イベント募金	5
ずっと・こころ・つなぐ基金上映会&トークサロン	
こうべ・あいウォーク 2013 <協働>	
ウ) 協働企画型寄付システム	6
古着リサイクル寄付 <協働>	
その他	

2 助成事業

ア) 本体助成	7
イ) はぁ〜とふるふぁんど支援事業<受託>	9

3 啓発・講座事業

ア) 寄附文化醸成セミナー<受託>	10
イ) NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座<協働>	10

4 運営管理

ア) 広報・情報発信	12
イ) ネットワーク活動等	12
ウ) スタッフ研修	12
エ) 会議	13

1 寄付・募金活動

ア) 寄付・募金受入

以下のみなさんより寄付金を頂きました。(敬称略・順不同)

高石 好志	和田 修
中嶋 美津子	溝口 幸子
小林 正平	井上 由紀子
田中 かをり	(特活) 阪神高齢者障害者支援ネットワーク
(有) ボック	近畿ろうきん
シスメックス㈱	被災地 NGO 協働センター
ずっと・こころ・つなぐ基金上映会&トークサロン参加者の皆様	
「禁じられた大地・フクシマ」上映会各会場への参加者の皆様	
長谷川 照代	中谷 豊
山口 一史	大野 義保
森本 樹	川戸 美智子
武田 政義	(財) 敬愛まちづくり財団
(社福) 兵遊協社会福祉事業協力会	こうべ・i - ウォーク 2013 実行委員会
瀬戸口 延恵	オガサワラコウジ
飛田 雄一	中島 秀男
オレンジスリフティ	

総額 ￥ 2,575,594

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

イ) イベント募金

ずっと・こころ・つなぐ基金上映会&トークサロン

「ずっと・こころ・つなぐ基金」は、東日本大震災の被災者支援のためのボランティア活動を長期的支えるしくみとして創設しました。創設のキックオフイベントとして、平成24年6月23日に兵庫県立美術館にて、ずっと・こころ・つなぐ基金創設記念上映会&シンポジウムを開催しました。

その後上映会&トークサロンでは、この基金への寄附の呼びかけと、被災地から遠く離れていて風化しがちな意識を、映像を通じて振り返り、実際に被災地に入られて支援活動をされている人たちのお話をお聴きして、今感じている想いを共有し、それを KOBE 発の災害支援ボランティア活動団体に託すことで、被災者支援につなげていくことを目指して、下記のとおり実施してきました。

各会場での募金は、当基金助成事業の中で、東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動を行う NPO・NGO / ボランティア団体への助成金として活用させて頂きました。

協力：Association GANBALO

協賛：シスメックス株式会社 / 近畿ろうきん / ボックサン / 阪神高齢者障害者支援ネットワーク / 被災地 NGO 協働センター

実施概要：

	日付	場所	上映作品	共催者
1	8月25日	神戸市東灘区	「東北再興の記録 3.11」	岡本商店街振興組合
2	9月7日	神戸市長田区	「東北再興の記録 3.11」	
3	10月13日	西宮市	「東北再興の記録 3.11」	(特活)アットホームホスピス
4	12月11日	神戸市中央区	「禁じられた大地・フクシマ」	アートサポートセンター神戸
5	1月21日	神戸長田区	「禁じられた大地・フクシマ」	
6	3月30日	加古川市	「禁じられた大地・フクシマ」	東はりま NPO ネットワーク

他に上映会開催の協力を、計3箇所で行いました。

実績：寄付金 ¥493,867

こうべ・あいウォーク2013 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして開催しました。スタート地点での募金(一口千円)は、当日の経費を差し引いて当基金へご寄付頂きました。

主催：こうべ・あいウォーク実行委員会(神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、まちコミュニケーション、(特活)しみん基金 KOBE)

協力：近畿労働金庫

日時：平成25年1月13日(日)9:30~13:30

場所：長田区(大国公園~鉄人28号モニュメント前、大正筋商店街、丸五市場・・・~みくら5)

実績：参加者 約200人、寄付金：¥149,313

ウ) 協働企画寄付システム

古着リサイクル寄付 (協働事業)

この事業では、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としています。

提携先：オレンジスリフティ

実績：寄付金 ¥328,832

その他

1) ろうきん NPO 寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄付金：¥12,000

2 助成事業

ア) 平成 24 年度しみん基金 KOBE 助成事業

助成の趣旨

しみん基金・こうべは、神戸市を中心とする地域の市民団体等による公益を目的とした活動に対して助成をし、それによって市民団体等の活動を促進し、21 世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的とします。

応募対象者

1. 神戸市及び周辺の地域に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体

助成金額

平成 24 年度助成事業は、助成総額 300 万円を予定しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、金 50 万円を上限。	
	助成総額は 150 万円までを予定。	助成総額は 150 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

助成事業の内容

1. 平成 24 年度基本方針：次代の市民活動の担い手育成を重視する。
2. 助成対象期間：平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日までの 1 年間における事業を対象とした。
3. 選考優先事項：助成先選考にあたっては、市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性、地域との連携・協働を図るものを、優先しました。
なお、特定枠の審査・選考するにあたっては、組織の「継続性」や「運営能力」よりも、事業内容の「社会的必要性」や「成果波及性」、その理念の「先駆性」をより重視することとしました。
4. 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）、負担金（諸会費）、交際費は対象外。

申請受付期間 平成 24 年 7 月 25 日（水）～平成 24 年 8 月 31 日（金）

申請受付団体数 申請件数 66 団体（一般枠；38 団体、特定枠；12 団体）

書類選考（1次審査） 以下の通り、書類選考（1次審査）を実施しました。

開催日時：平成24年9月14日(金) 14:00～17:00

場 所： コミスタこうべ201号室

形 式： 理事会にて審議

選考結果： 20団体（一般枠；14団体、特定枠；6団体）

ヒアリング調査 以下の通り、書類選考された20団体の活動拠点を理事等で手分けして訪問し、ヒアリング調査を実施しました。

期 間： 平成24年9月20日（木）～平成24年10月9日（火）

形 式： 当基金理事による訪問、ヒアリング調査報告書の作成

公開審査会 以下の通り、書類選考された20団体のプレゼンテーションによる公開審査会を開催しました。

開催日時： 平成24年10月30日（月）13:00～17:00

会 場： 神戸市生涯学習センター（コミスタ神戸）

出席審査員（順不同・敬称略）:

石東 直子（審査員長）、中瀬 勲、相川 康子、河口 紅

齋本 郁、津久井 進、中島 淳、山田 剛司、渋谷 卓司

助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の8団体（一般枠；4団体、特定枠；4団体）の各事業に合計2,990,000円（一般枠；1,500,000円、特定枠；1,490,000円）の助成金を交付することを理事会にて決定しました。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	日本国際学生協会	第50回日韓学生会議
	2	ノーマライゼーション陸上スポーツ大会実行委員会	ノーマライゼーション陸上スポーツ大会
	3	（特活）LIC	兵庫・人権啓発プロジェクト～障害者権利条例を作ろう！～
	4	性暴力被害者支援センター・神戸	性暴力被害者のための『支援員（アドヴォケート）養成講座』と支援活動の実働研修
特定枠	5	神戸国際支縁機構	東日本大震災被災地のボランティア事業
	6	「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会	気仙沼市「防潮堤を勉強する会」模型製作支援
	7	一般社団法人 日本カーシェアリング協会	仮設住宅でカーシェアリング（車の共同利用）を行う事業
	8	阪神・淡路大震災まち支援グループまち・コミュニケーション	住民主体のまちづくりを実現するための寄り添い型コーディネート

しみん基金・KOBE 特別賞（旧草地奨励賞）

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。公開審査会同日に開催された当基金理事会の審議により、今年度は「(特活)ジョナサンフレンズ(現(特活)ウェルネスハート)」に贈呈致しました。

平成 23 年度助成先事業成果報告会

平成 23 年度助成事業（助成対象期間：平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）の締めくくりとして、助成先団体による成果報告会を下記の通り実施しました。

・開催日：平成 24 年 12 月 6 日（木）14:00～16:30

・開催場所：コミスタこうべ

・ねらい：各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄付提供者や審査のプロセスにご協力いただいた皆さんと共有する。

市民活動・ボランティア活動など民間による公益的活動を市民自らの力で支えることの大切さを分かち合う。

各団体報告を傾聴することで新しい気づきや学びと出会いやネットワークづくりのきっかけにご活用していただく。

イ) はぁ～とふるふぁんど支援事業（受託事業）

21 世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はぁ～とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。（はぁ～とふるふぁんど申請書より抜粋）

[支援対象]

兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。

[支援金額]

全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。

[受付期間]

平成 25 年 1 月 7 日（月）～平成 23 年 3 月 8 日（金）

[申請団体数]

申請団体数 182 団体（うち 46 団体に助成予定）

まとめ

本年で第 12 回目となる事業ですが、引き続き、兵庫県遊技業協同組合・神戸新聞グループで構成される「はぁ～とふるふぁんど委員会」より委託を受けました。申請団体の顔ぶれは年々変化してきていて、本事業が地域に定着してきています。これは、当基金としても兵庫県内の市民活動の実態を知る上で、大きな財産となっており、今後の助成の方向性を考える為にも貴重な事業といえます。

3 啓発・講座事業

ア) 寄附文化醸成セミナー(受託事業)

平成23年6月に、「NPO法改正」と「新寄附税制」という、市民活動を支える2つの大きな制度改革が実現しました。これらの趣旨を活かしてNPO等が市民から信頼される組織となるためには、これからの市民社会における寄附税制改正の意義をしっかりと理解して、社会に向けて発信していくことが求められています。このセミナーでは、今回の制度改革の要点、特にNPOにとって大切なポイントを解説し、合わせてNPO等が知っておかなければならないファンドレイジングの基礎知識を学ぶことで、新制度の実効性を高めることをねらいとしました。実施概要は下記の通りでした。

なお、この事業は兵庫県「地域づくり活動支援事業 NPO等イメージアップ作戦(寄附募集支援)」の受託事業として実施しました。

[実施概要]

(1) 内容 :

寄附税制改正の意義とその具体的な要点をNPO等が理解し、その上で寄附集めをするにあたって取り組んでおくべきことを学ぶ。

1日目: ・寄附税制改正の意義を新しい市民社会に求められる中で位置づける。

講師: 新野幸次郎氏(公益財団法人神戸都市問題研究所・理事長)

2日目: ・寄附税制改正および認定NPO法人制度改革のポイントを解説する。

講師: 脇坂誠也氏((特活)NPO会計税務専門家ネットワーク・理事長)

・NPO等の寄附集めの基礎知識と事前にしておくべきことを学ぶ。

講師: 江口聰((特活)しみん基金・KOBE・事務局長)

(2) 実施日・場所:

ア) 第1回 1日目: 平成24年9月24日(月) 13:00~16:30

2日目: 平成24年9月26日(水) 13:00~16:30

場所: 兵庫県民会館

イ) 第2回 1日目: 平成25年2月12日(火) 13:00~16:30

2日目: 平成25年2月14日(木) 13:00~16:30

場所: 尼崎市立労働福祉会館

協力: 特定非営利活動法人 シンフォニー

(3) 参加者 : 主に県内NPO関係者等

ア) 第1回 37名 イ) 第2回 18名

イ) NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西日本地区版)(協働事業)

当基金の講座事業として、NPO法人パンブリックリソースセンターとパナソニック(株)のご協力のもと、市民活動団体の特色を踏まえたマネジメント支援ができる専門家の育成を目指して、下記の通り講座事業を実施しました。

カリキュラム構成と実施状況

ア) 基礎編(通信講座): テキストの熟読とe-ラーニングによる課題添削で、NPOマネジメントの基礎を学ぶ。(平成24年8月2日~平成24年10月26日)

イ) 実践編(実習+教室学習): 実際のNPOを実習先として、その経営の現状と課題を把握し、受講者によるグループディスカッションなどを通じて、NPOの組織診断の方法論を学ぶ。
平成24年度は、NPO法人プール・ボランティアに実習先を引き受けて頂きました。

- ・平成24年10月27日 オリエンテーション
- ・平成24年11月10日 ヒアリング項目抽出(教室学習)
- ・平成24年11月23日 ヒアリング(実習)
- ・平成24年12月8日 SWOT分析・課題の抽出(教室学習)
- ・平成24年12月22日 組織診断報告書作成(教室学習)
- ・平成25年1月14日 診断結果報告会(実習)

実績: 受講者: 7名、組織診断報告書(対NPO法人プール・ボランティア向け)の作成

4 運営管理

ア) 広報・情報発信

ニュースレター発行

第27号：平成24年5月、第28号：平成24年8月、第29号：平成24年12月

ホームページ；ずっと・こころ・つなぐ基金専用ページの増設、

ホームページ・事務局ブログ・FB；随時更新

しみん基金 KOBE 紹介パンフレット及び紹介パネル（展示用）の改訂

イ) ネットワーク活動等

神戸市アドバイザー派遣事業 主催：(特活)神戸まちづくり研究所（神戸市からの委託事業）

・アドバイザー派遣：(特活)アミティエスポーツクラブ（神戸市東灘区）

派遣回数：5回（平成24年11月～平成25年3月）

・アドバイザー派遣：(特活)Peace & Nature（神戸市中央区）

派遣回数：3回（平成24年11月～平成25年2月）

・NPO 運営ステップアップ講座：4回（平成24年11月～平成25年3月）

・MTG・ケース検討：4回（平成24年7月～平成25年3月）

関西NPO支援センターネットワーク 主催：大阪ボランティア協会

・第22回研究会 平成25年3月1日 @吹田市立市民公益活動センター

ひょうごコミュニティ基金・共同広報事業 主催：(特活)市民活動センター神戸

・学習会：2回（12/21、2/5）@KEC

・市民ファンドフォーラム：平成25年2月23日 @神戸まちづくり会館

・MTG：4回（6/12、7/10、1/18、3/14）

ひょうごNPO研究会 主催：HYOGON

・研究会：5回（8/2、8/22、9/13、1/7、2/25）

・MTG：2回（6/28、3/19）

兵庫CSR調査事業 主催：(特活)コミュニティサポートセンター神戸

・訪問調査企業数：5社 ・MTG：4回（5/8、6/29、10/2、12/9）

・ネットワーク会議：平成25年3月5日 @ひょうごボランタリープラザ

市民ファンド連絡推進会 担当団体：(特活)市民社会創造ファンド

・総会&フォーラム：平成24年6月25日 @東京

CSR個別支援：シスメックス市民基金設立アドバイス

・事例調査：4箇所 ・8月：提案書の提出

・実務MTG：6回（10/16、11/8、12/12、1/10、1/18、2/21）

講演依頼等

- (ア)平成 24 年 6 月 5 日 芦屋市消防協会定時総会記念講演会 講演：黒田理事長
- (イ)平成 24 年 7 月 5 日 キャパシティビルディング・フォーラム:パネル出演:江口事務局長、
主催：パナソニック、@東京
- (ウ)平成 24 年 12 月 24 日 事業計画ブラッシュアップセミナー～「資金調達」:講師：江口事務局長
主催：(特活)シンフォニー @尼崎
- (エ)平成 25 年 1 月 23 日 NPO 法人設立・就業サポートコース/講座「ファンドレイジング」
講師：江口事務局長 主催：(特活)シンフォニー @尼崎
- (オ)平成 25 年 3 月 24 日 助成金セミナー 講師：江口事務局長
主催：(特活)高知県西部 NPO 支援ネットワーク @高知・四万十町

ウ) スタッフ研修

- 助成実務者研修会 主催：(公財)日本助成財団センター
平成 24 年 11 月 21 日 @大津 参加：江口
- 准認定ファンドレイザー資格取得 主催：(特活)日本ファンドレイジング協会
試験：平成 24 年 6 月 30 日 @東京 参加：江口
- 認定ファンドレイザー資格取得 主催：(特活)日本ファンドレイジング協会
必修研修：平成 24 年 10 月 6～7 日 @東京 参加：江口
選択研修：3 回 (9/27、10/5、10/27) @東京 参加：江口
レポート提出：平成 24 年 11 月 16 日
試験：平成 24 年 12 月 1 日 @東京 参加：江口
- ファンドレイジング・フォーラム in 大阪 主催：大阪ボランティア協会
平成 25 年 1 月 20 日 @大阪 参加：江口
- 寄附の学校 主催：(公財)わかやま地元力財団
平成 25 年 3 月 21 日 @和歌山 参加：江口

エ) 会議

定時総会

- 開催日：平成 24 年 5 月 31 日 (木) 18:00～19:30
- 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所
- 出席会員数：27 名 (うち委任状提出 19 名) 正会員数：41 名
- 審議事項：(1)平成 23 年度事業報告並びに決算報告
(2)平成 24 年度事業計画案並びに予算計画案
(3)役員任期満了に伴う改選 (新任：芦田俊氏、他全員再任)

理事会

- 1)平成 24 年 5 月 15 日 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所
審議事項：平成 24 年度定時総会付議事項、審査員選任
- 2)平成 24 年 9 月 14 日 開催場所：コミスタこうべ
審議事項：助成事業/一般枠・特定枠の書類選考
- 3)平成 24 年 10 月 30 日 開催場所：コミスタ神戸

審議事項： 公開審査会選考結果承認・助成先決定、 しみん基金 KOBE 特別賞選考

四役運営会議

1) 平成 24 年 7 月 30 日 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：「ずっと・こころ・つなぐ」基金のサロン事業、新寄付システム（仮称・買い物 de 寄付）HP 寄付ページ改定案、寄付文化醸成セミナー事業、シスメックス社・助成プログラム設計企画

2) 平成 25 年 2 月 1 日 開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：基本財産取り崩し、事務局人員、中期計画素案、今後の日程調整

スタッフについて 平成 24 年 1 月採用の上杉敬氏は、9 月 21 日よりがん治療のため休職、平成 25 年 2 月 16 日に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。